

The company, mAbProtein,
has been established
to help patients, doctors, and researchers.

DRIVING INNOVATION IN ANTIBODY DEVELOPMENT



XBB 測定開始！

現在流行中の XBB に対する中和抗体の測定を開始しました！！

正しい

新型コロナウイルス 中和抗体検査

XBB を検査できるのはマブプロテインだけ！
デルタ型、オミクロン株（BA.5）、オミクロン株（XBB.1）の3種を
同時に検査できます。

一般的に言われている「中和抗体検査」は、正確には中和抗体ではなく単なる抗体の場合がほとんどです。
マブプロテインでは、独自で開発したELISA方式により本当の中和抗体価を測定しています。

抗体販売、抗体の受託作製もいたしておりますので、良質な抗体がご入用の際は、お気軽にご相談下さい。



www.mabprotein.co.jp

島根大学発ベンチャー

株式会社 mAbProtein

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部 基礎研究棟1階

TEL : 0853-27-9950 FAX : 0853-27-9950



mAb
Protein

mAbProtein Co., Ltd.

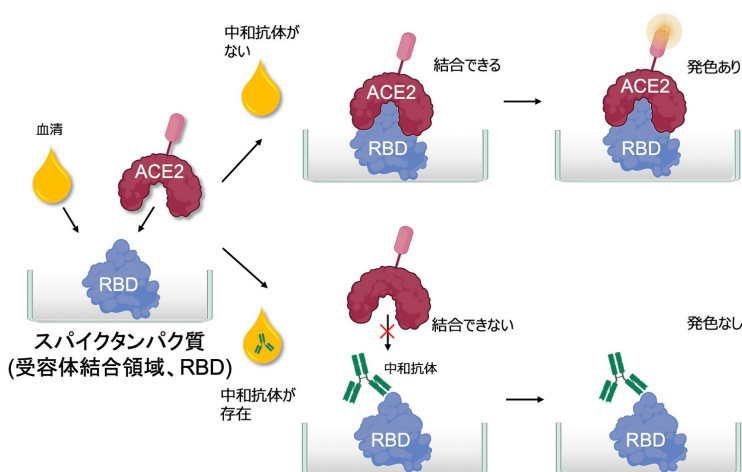
新型コロナウイルスに対する 新しい簡易・迅速中和抗体測定法

図1に示すような原理で、ウイルスを用いないで、短時間で簡便に中和抗体を測定する方法を、全世界のいくつかの研究グループと同様に開発しました。野生株ばかりではなく、デルタ株・オミクロン株など流行する変異株のスパイクタンパク質を用いることで様々な変異株に対応して正しい中和抗体を測定することができます。

中和抗体とは、新型コロナウイルスの場合スパイクタンパク質とウイルス受容体であるアンジオテンシン変換酵素2 (angiotensin-converting enzyme 2、ACE2) というタンパク質との結合を阻害することができる抗体のことです。中和抗体はウイルスとウイルス受容体の結合を阻害するため、ウイルス感染リスクを減少させる可能性があります。したがって、特に医療従事者や基礎疾患保持者、高齢者等において抗体の中和活性能力を測定することは重要です。

ウイルスを用いた中和抗体の測定は、ウイルスを培養細胞に感染させる必要があるため、感染のリスクを伴うだけでなく、煩雑であり、特別な施設と時間のかかる測定法です。また、これまで実施されてきた抗体測定(図2)では、スパイクタンパク質に結合する抗体量を調べることが可能で、測定された抗体量と中和活性の間には一定の相関が認められることも知られています。しかし、抗体の中にはスパイクタンパク質とACE2との結合を阻害しないものも当然含まれています。ウイルス感染に対する抵抗力の強さを正確に判断するためには、やはり中和活性を持つ抗体量を測定する必要があります。

【図1】 ウイルスを用いない中和抗体測定



【図2】 従来の抗体測定法

